

チェリーにおける支援プログラム・支援の方針について



令和6年度の報酬改定におきまして、【健康・生活】【運動・感覚】【認知・行動】【言語・コミュニケーション】【人間関係・社会性】の5領域を含む総合的な支援を提供することが基本となりました。個別支援計画書にも随時取り入れて定めておりますので、チェリーの支援プログラム・支援方針をホームページにて公表いたします。

【健康・生活】

- ご利用時、普段と違う様子や表情・行動がないか観察しながら、健康状態の常なるチェックを行い、必要な対応をおこないます。
- 食事、排泄、着替え等生活に必要な基本的機能の個々に見合った獲得を目指して「できたね」の経験を重ねていくよう支援していきます。
- スケジュールや可視化、構造化等により障がいの特性に配慮し、生活環境を整えて本人にわかりやすく支援していきます。



【運動・感覚】

- 体操の音楽でリズムに合わせて体を動かしたり、バランスボールやトランポリン、クッションボール等による感覚刺激を取り入れられるような支援をおこないます。



【認知・行動】

- ブロック遊びや季節を通して、生活の中で色や形、大きさ、冷たさや温かさ等を無理なく感じとれるように促していきます。
- 環境から情報を取得し、選択・要求等行動につなげるという一連の認知過程の発達を支援します。
- 感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障がいの予防や適切行動への対応の支援をおこないます。

【言語・コミュニケーション】

- 体験と言葉や自身がとる行動との意味を結びつけることにより、言葉が示す行動の意味や自身がとる行動の意味の理解の習得、自発的な発信を促していきます。
- 障がいの特性を理解し、絵カード、身振り・手振り、ジェスチャー等の非言語コミュニケーションで相互理解を図っていきます。



【人間関係・社会性】

- 遊び等を通して人の言動を模倣することにより、社会性や対人関係の芽生えを支援していきます。その際、大人が介入して行う連合的な遊びやルールを守って遊ぶ協同遊びを通して徐々に社会性の発達を支援していきます。
- 集団に参加するために必要な手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるよう支援し、モデリングやフォローアップをおこなっていきます。
- 順番など必要なルールを教えていく過程で、障がいの特性に配慮しタイムタイマー等視覚的にわかりやすいツールを使用して、時間の区切りや待つことや交代すること等を促していきます。



【総合的支援】

- 個々の障がい特性を把握し、無理のない程度に長い時間をかけた経験の積み重ねを通して、日常生活動作や集団の中で生活するのに困らないようなスキル等、将来必要になってくる行動の獲得を促していきます。
(排泄、食事、着替え、要求行動、スケジュールへの取組み等)

